

グループホーム新地だより

令和元年度第3号

「1月行く年。2月逃げる年。3月去る年。」とは言いますが、桃の節句も間近となり、長かった冬も終わろうとしています、皆様方お元気でお過ごしでしょうか。

グループホーム新地では、春の行事としまして雛祭り・花見を予定しています。花びえに気をつけ見物に出かける予定です。

暖かくなるのは嬉しいですが、花粉が舞うのは勘弁してほしいものです。

新地天真爛漫

お正月

書き初めに
願いを込めて



お屠蘇で
新年のご挨拶



七草がゆで一年の
無病息災を祈って



節分

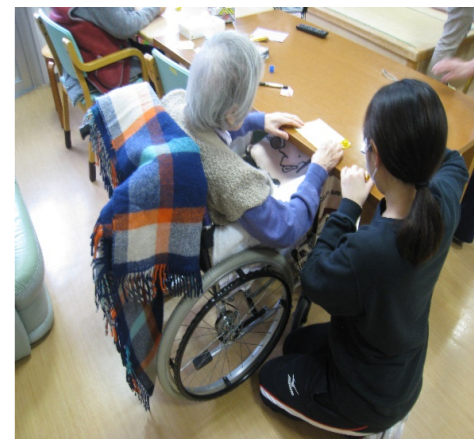
鬼は～外。

福は～内。



グループホーム新地通信

今年も長崎大学からの看護学生さんが実習に来られました。看護の勉強はもちろんの事、学生さんが鬼に扮し、豆まきを楽しんだり一緒におやつを作ったり、学生さんのはつらつとした笑顔にパワーを頂き、かけがえのないひと時を過ごしました。



新地ばあやの豆知識

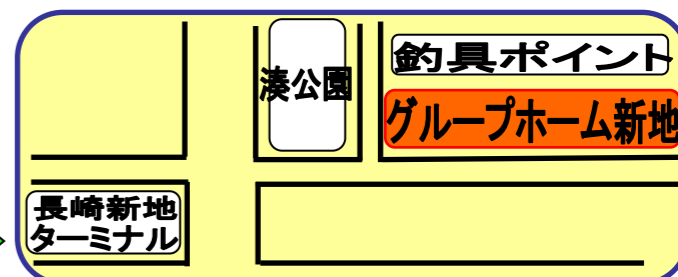


うるう年と言えば老若男女知っている4年に1度訪れる年で、今年が、その年なんじゃ。

まず最初に意味について話そうかの。「うるう」とは漢字で書くと「閏」になるんじゃ。「うるう」と読めば「じゅん」ともむんじゃが、「うるう」は季節や暦のズレを調整する意味があるそうじゃ、普段は太陽暦を使っているのじゃが、太陽と自転速度の調整で4年に1度「2月29日の1日」だけで調整されているのじゃよ。うるう年でない年の事は平年(へいねん)と呼ぶんじゃ。

1日増えると少し違和感を感じるかもしれないが、1873年(明治6年)から使っている歴史ある大切な日であるので皆様も充実した日にしてほしいのう。

介護の相談事はお気軽に
こちらまでご連絡下さい。



住所：長崎市新地町6-3 2F・3F
TEL：095-823-3564